

ともにかふほねに似たり、立泉花ともいふ、又丸葉あり、

〔本朝食鑑三〕萍蓬草俗訓加

釋名骨蓬源順和名訓加波保禰近

集解三四月出水莖大如指、葉似荇葉而大、初生如荷葉、長則徑四五寸、色深青、六七月開黃花、四出結

實如角黍、長二寸許、內有細子、一包如罌粟、其根有如粟者、有如荷莖者、今時以如荷莖者、入藥用源順

載崔禹錫食經謂根如腐骨、花黃色、莖頭著葉、此能形容之者也、

〔大和本草八〕萍蓬草カホネ 葉ハ芋ニ似テ厚ク光アリ、莖ツヨク水上ニタチノボル、葉モ花モ水面ニ

ウカバズ、根大ナリ、夏月黃花ヲ開キ、秋ノ末マデアリ、一莖開一花堪賞、本草陳藏器李時珍ガ説可

考、倭流ノ外醫及女醫コノンデ用之、性ヨク血ヲ收ム、

〔重修本草綱目啓蒙十六〕萍蓬草 カハホネ 骨蓬和名 骨髓和方 カハ同上 カハト仙臺

タイコノ プチ

池中ニ生ズ、根ハ水底ニアリ、葉ハ芋葉ニ似テ、狹長ニシテ厚ク、面ハ深綠色ニシテ背ハ淺シ、一根

ニ叢生ス、水淺キ時ハ葉水上ニ見ル、深キ時ハ水中ニアリテ、體薄クシテ色モ淺シ、夏ヨリ秋ニ至

テ粗莖ヲ抽テ水ヲ出テ一花ヲ開ク、五瓣黃色光リアリ、梅花ノ形ノ如ニシテ、大サ一寸許、瓣皆上

ニ向ス、中ニ黃藥アリ、其未ダ開カザル者ハ、形圓ニシテ鼓槌ノ如シ、故ニタイコノブチト呼ブ、一

種ハニカハホネハ、花赤黃色、一種黃瓣紅葉ナルヲ、シンクレナキノカハホネト呼ブ、共ニ根ハ粗

ク長ク、節多クシテ深綠色ナリ、和方ニ多く用ユ、一種ヒメカハホネハ、花葉皆小ナリ、一種オカカ

ハホネハ陸生ナリ、形狀ハリウキンクハニ似テ、莖垂レズ、花瓣ニ尖リアリ、

〔長生療養方一〕骨蓬 治黃疸、消渴、喉痺、

〔執政所抄上〕十五日